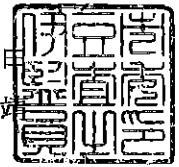


伊豆市監査委員 告示第5号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、監査の結果を次のとおり公表する。

令和4年3月24日

伊豆市監査委員 渡邊 光由
伊豆市監査委員 青木 靖



記

1. 監査の期日 令和4年2月14日(月)

2. 監査の対象

建設部 用地管理課、都市計画課、上下水道課、建設課

3. 監査の方法

提出された監査資料等に基づき、各担当課の説明を受けた後、事情聴取並びに関係書類の審査を実施した。

4. 監査の結果

監査を実施した範囲においては、事務事業及び予算執行状況は概ね適正に処理されているものと認められた。

5. 監査の概要、意見

対象部課の監査結果の概要及び意見は、次のとおりである。

【建設部】

(1) 用地管理課

- ① 市営住宅維持補修工事では、立野団地改修工事を25,630千円で、宮の前団地改修工事を29,942千円で、市山椿入団地改修工事を13,574千円で(株)山室組と締結しを行っている。これは市営住宅の長寿命化計画に基づくものである。令和2年度の使用料現年度分収納率は98.2%、過年度分では11.8%で、滞納額9,703千円が未収納状態である。居住滞納者に対しては、状況に応じた柔軟な対応により強制退居とならないように判断願いたい。いろいろな人が居住していると思いますが、適正な使用をしていただくように管理指導の徹底をお願いします。
- ② 市道管理の状況では、道路台帳再編整備業務として37,950千円及び境界確定通知書電子化業務として1,265千円を(株)東日に委託している。また、鹿群山砂防堰堤建設に伴う市道下城謡畑線の拡幅工事による分筆登記業務として440,000円を石谷土地家屋調査士事務所に委託している。

上記業務が整備されることにより、自宅でインターネット等により、道路状況（路線名・路線区間・道路幅等）を確認できるようになるとのこと。画期的に変わるということで大いに期待します。

- ③ 本年度の道路占用料の現年度分収納率は、2月1日現在、99.99%で収納率は昨年よりも上がっているが、過年度分については、0.8%で昨年よりも下がっている。河川占用料の現年度分収納率は、96.6%で昨年よりも上がっているが、過年度分は8.1%で昨年よりも下がっている。しかしながら全体で見れば収納率は改善が計られた。収納未済額は依然として多いが、あらゆる徴収の手法を駆使して、収納未済額の減少に引き続き努めていただきたい。
- ④ 伊豆縦貫自動車道等関連事業では、平成30年度に供用開始された天城北道路の残工事について、国土交通省と協力し事業を推進していく。今年度は、大平再圃場管理道路門扉設置工事（237千円）、関係4団体への負担金、交付金（501千円）を執行している。
- ⑤ 地籍調査は、計画地区の全行程を3年サイクルで行っている。本年度は、補助金分として冷川（Ⅲ）、徳永（Ⅰ）、（Ⅰ・Ⅱ）の中伊豆地区0.85km²を委託料19,800千円で東和設計（株）が請け負っており、前年度継続事業として、天城峠（Ⅰ）、（Ⅱ）、（Ⅲ）、（Ⅳ）、（Ⅴ）の天城湯ヶ島地区0.94km²を、瓜生野（Ⅱ）、（Ⅲ）の修善寺地区0.2km²を、八木沢（Ⅲ）、（Ⅳ）、（Ⅴ）の土肥地区0.42km²を引き続き地籍調査業務委託している。本年度の調査面積は宅地・農地が0.57km²、山林部分が0.94km²、全体の進捗面積は27.54km²で、宅地・農地における進捗面積の比率は75.65%、山林部分における進捗面積の比率は0.37%、全体面積に対しては9.54%となっているとの説明を受けた。縦貫道関連により、天城湯ヶ島地区では優先的に山林部分を行うこととなっているため、本年は縦貫道が計画された天城峠地区を進めている。

平野部については肅々と進めていただき、また縦貫道関連による山間部の調査も始まる。新たな技術を駆使した方法により、コロナ禍で直接の交渉ができず相続関係で大変苦勞しているようですが、引き続き調査を進めていただきたい。

(2) 都市計画課

- ① 都市計画推進事業では、地域別ワークショップによる4地区住民との意見交換や専門家による委員会を実施し、「都市計画マスタープラン案」を策定し、都市計画審議会を経て令和3年10月に完成となった。また伊豆縦貫自動車道関連の中間インターの設置が予定されている茅野地区でワークショップを実施し、まちづくりの基本構想について検討している。立地適正化計画の策定に関しては、令和5年度策定に向けて基礎調査を行う。

市のあるべき将来像「伊豆市コンパクトタウン&ネットワーク構想」の実現に向けての具体的な実現方策を都市計画マスタープランは示しており、これが策定されたことにより、この先において、先導的なプロジェクトの実施等で着実に形に現われてくると思われま。大いに期待しています。

- ② 景観まちづくりの実施状況では、「伊豆の玄関口として観光客がホスピタリティを感じる

景観を醸成する」、「潤いある狩野川沿いの景観を守り育てる」、「景観資源の保全・活用と周遊性の向上によりにぎわいを創出する」の3つの方針を軸にして、「修善寺駅前地区景観まちづくり計画」を策定し、質の高い都市空間を備えた国内外の来訪者にやさしい都市生活交流拠点として、地域内外の人に愛される地域を目指すとのこと。

伊豆の玄関口として温泉地や歴史的・文化資源等の魅力を発信し、駅広場を活用したイベント等で、観光客や地元住民が思い出に残り楽しめる、にぎわいとおもてなしの拠点となるように期待します。

- ③ 屋外広告物事業では、静岡県屋外広告物条例により屋外広告物の特別規制区域、普通規制区域、広告景観保全区域がある。現在、伊豆半島域で違反広告物の是正に取り組んでおり伊豆市内で違反している野立て看板数 423 件(平成 29 年 12 月調査時点)は、本年 12 月末で 29 件(進捗率 93.1%)へと減少している。東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会までに違反広告物をなくすことを目標に掲げ取り組んできた。残りの 29 件については、撤去が難しいものがほとんどで、所有者が判らないもの、柱だけ残ってしまうもの等である。

伊豆市を訪れるお客様に景観の素晴らしい伊豆市を満喫してもらい、再び訪れていただくためにも、少しでも多くの撤去をお願いしたい。

- ④ 駅北広場駐車場は、管理システムをユニヴァーサル商事㈱に委託(2,508 千円)し、駐車料金の清算・出金、利用の管理等を行っている。本年度は、新型コロナの影響もなく、利用者は平年並みとなっている。利用状況は次のとおりである。

(単位：台数、円)

年度	上段駐車場			下段駐車場			北口広場(上下段)駐車場 計			
	無料台数	有料台数	計	無料台数	有料台数	計	無料台数	有料台数	計	利用料金
R 元	19,955	4,946	24,901	4,386	3,322	7,708	24,341	8,268	32,609	3,447,300
R 2	12,948	2,231	15,179	2,342	2,610	4,952	15,290	4,841	20,131	1,489,100
R 3	18,829	3,715	22,544	4,226	3,653	7,879	23,055	7,368	30,423	2,232,700

※ R 2・3 年度は、12 月分までの累計

- ⑤ 牧之郷駅周辺の整備状況は、牧之郷地区計画に基づいて、駅前交通広場、緑地広場、生活道路を整備する。令和 3 年度は造成工事の契約を締結し、外側の擁壁設置等行う。進捗率は、12 月末現在で 44%となっている。

伊豆市の中で唯一人口が急増している地区の牧之郷駅の周辺整備であることから、地元住民の意向をくみ上げ、大勢の人たちが利用するにふさわしい町並みとなることを期待します。

(3) 上下水道課

- ① 水道管の布設工事では、簡易水道事業は、1) 本柿木配水管布設替工事(契約金額 17,578 千円) 1 箇所を施工し、上水道事業は、1) 月ヶ瀬配水管布設替工事(契約金額 8,657 千円)、2) 地蔵堂地区配水管布設替工事(契約金額 22,550 千円)、3) 上和田地区配水管布設替工事(契約金額 9,537 千円)、4) 年川地区配水管布設替工事(契約金額 6,754 千円)、5) ニ

ユーライフ加圧系統配水管布設替工事（契約金額 15,939 千円）、施設の改修工事では、簡易水道事業は、1) 柿木浄水場可搬式浄水装置設置工事（契約金額 37,180 千円）、上水道事業は、1) 熊坂中継ポンプ場他送配水設備改修工事（繰越）（契約金額 11,990 千円）、2) 冷川系統計装・加圧設備更新工事（契約金額 15,510 千円）、3) 土肥系統原水濁度計・配水流量計更新工事（契約金額 14,025 千円）の施工を確認した。

水道水の供給は、市民生活の上で必要不可欠なものである。伊豆市は面積が広く、管路も長い、水道施設と老朽管路の計画的な更新を実施し、漏水による断水や有収率の低下を招かぬよう安定した供給に努めていただくことを希望します。

- ② 下水道事業の管渠布設工事では、1) 令和 2 年度大平地区第 1 工区（繰越）（契約金額 49,632 千円）、2) 令和 2 年度大平地区第 2 工区（繰越）（契約金額 43,934 千円）、3) 令和 3 年度大平地区第 1 工区（契約金額 52,800 千円）と、1) 下水道管渠更生工事（土肥地区）（契約金額 5,390 千円）の内容を確認した。
- ③ 上下水道料金徴収業務は、㈱ヴェオリア・ジェネッツに徴収業務を含めた受付業務等を 47,078 千円で委託している。現年度の収納率は次のとおりである。

収納率	上水道	簡易水道	温泉	下水道	農業集落排水
R 元年度	97.46%	97.87%	94.06%	97.73%	98.55%
R 2 年度	97.97%	97.19%	93.41%	98.45%	98.78%
R 3 年度	97.26%	94.82%	94.56%	97.80%	96.11%

※ R 3 年度については、11 月までのデータ。

受付事務、検針事務、徴収事務、開閉栓業務、給水停止業務等を㈱ヴェオリア・ジェネッツと令和 7 年 3 月 31 日まで委託契約している。この先の伊豆の国市、伊東市との広域連携も視野に入れながらの業務委託となる。

水道修繕調査等業務委託では、伊豆市上下水道協同組合に市内水道の漏水事故等の受付・相談窓口、現場確認及び漏水調査、漏水修繕業務を 43,022 千円で委託し、上水スタッフ業務量の負担軽減となっている。また、料金の値上げについては、経営戦略の中で慎重に審議し、市民の理解を求めていくとのこと。

料金の徴収については、㈱ヴェオリア・ジェネッツと委託契約をしているが、過去 5 年の収納率を見ると、例年並みが続いている。委託している業務の一つであるので、もう一息頑張ってください、収納率アップとなることに期待します。

(4) 建設課

- ① 本年度の県単独治山（補助）事業は柳瀬入ノ洞治山工事（契約金額 22,330 千円）が 1 月に完了した。次年度要望も、1 か所の予定とのこと。引き続き危険個所の工事の着手により、住民の安心安全な生活が守られるよう希望します。
- ② 市道整備事業では、防災・安全交付金事業（補助率 55%）として市道越路嵐山線（御幸橋）関連工事（2 年度分）、市道大平柿木本柿木線改良工事（2・3 年度分）、市道柏久保線改良工事の修繕内容の説明を受けた。橋梁の点検は、5 年で市内 600 橋を行う。今後も長寿

命化計画の中で毎年の約 150 件の点検と予算枠規模で改修を継続していくとのこと。市道さくら大通線、市道矢熊後場線及び市道温泉場バイパス線の改良工事の内容の説明を受け確認した。また、災害復旧工事農業関係 8 件、道路関係 4 件、河川関係 1 件の説明も受けた。

- ③ 本年度の急傾斜地崩壊対策事業については、土肥の駿豆学園裏の大久保N o. 3 急傾斜地崩壊対策工事(29,700 千円)及び大平柿木助惣急傾斜地崩壊対策工事(17,050 千円)の 2 箇所を実施している。国の補助決定により着手しており、補助金額により工事の総延長を決定している。現在、市内で県営急傾斜地崩壊対策事業が修善寺原地区、修善寺竹原B地区、牧之郷、青羽根、市山、月ヶ瀬、下船原で実施されている。急傾斜地の工事規模により県営工事か市工事かが判断され、県営工事の場合は、5～10%の負担金を負担して県にお願いしているとのこと。

